

第6回 ASEAN+3 保健大臣会合について

会合の位置づけ

1997年のアジア経済・通貨危機を契機に、ASEAN諸国（※）と日本・中国・韓国の枠組みでASEAN+3首脳会談が開催された。以後ASEAN+3の連携が次第に拡大される中、2004年にASEAN+3保健大臣会合が初めて開催され、現在に至っている。

本年は9月19日（金）にベトナム社会主義共和国（ハノイ）にて開催。

※ASEAN諸国：インドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、マレーシア、ブルネイ、ベトナム、ミャンマー、ラオス、カンボジア

議題

会合では主に保健分野における共通課題や国際協力等について意見交換が行われ、共同宣言が採択される予定。今回会合のテーマは「2015年以降のASEANコミュニティの保健の改善」。

会合日程

9月19日（金） 第6回 ASEAN+3 保健大臣会合

（参考）これまでの開催経緯

- 第1回（2004年：マレーシア） テーマ「国境のない保健・医療の確保」
- 第2回（2006年：ミャンマー） テーマ「健康危機に対するASEANの結束」
- 第3回（2008年：フィリピン） テーマ「貿易自由化：ボーダーレスな保健の問題に対する負の影響」
- 第4回（2010年：シンガポール） テーマ「健康な人々、健康な地域」
- 第5回（2012年：タイ） テーマ「2015年ASEAN統合に向けた保健の好機と課題」